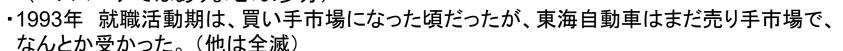


2019年12月23日 東海自動車株式会社 和泉澤 貴治

自己紹介

- ・和泉澤 貴治(いずみさわ たかはる)
- ・1970年神奈川県生まれ(2日後には49歳、いまだに独身)
- ・子どもの頃から、学校の長期休暇の時には母の実家があった「伊東」 に遊びに来ていて、なぜか「東海バス」が好きになる。小学校の文集 に将来の夢として、「東海バスの運転士」と書いたほど。 (バスマニアではありません!多分)



- ・1994年3月 東海自動車株式会社入社。バス部門とは別の付帯事業の部署に配属される。 (この間に「商売」について学んだ)
- ・2002年7月 バス部門に異動。以降、広報・宣伝、自治体担当(補助金)、ダイヤ担当、案内所関係、車両関係、安全関係等、バス部門のほぼ全てに係わる。組織改編はあったものの、基本的には同じ部署で仕事を行っており、長老的存在に。
- ・ダイヤ担当時代には、「商売」を念頭に、時刻表・路線図のバス車内での配布、ヘッドダイヤの推進、系統番号の導入等、お客さまにもっとバスを利用してもらうことを考えて取り組んだ。
- 現在 東海自動車株式会社 バス計画部 課長 担当業務:地域交通、自治体(補助金)関係、雑用含む便利屋



東海バスグループの概要

(熱海市・伊東市・神奈川県湯河原町) 伊豆東海バス (車両数 乗合83、貸切11) (東伊豆町・河津町・下田市・南伊豆町) 南伊豆東海バス (車両数 乗合31、貸切7) 東海自動車 (統括会社) (松崎町・西伊豆町) 西伊豆東海バス 1917年 (車両数 乗合25、貸切5) (大正6) 設立 2009年分社 (伊豆市・伊豆の国市・沼津市) 新東海バス (車両数 乗合29、貸切13) 東海バス (沼津市·三島市·清水町·長泉町·神奈川県箱根町) オレンジシャトル (車両数 乗合67、貸切14) 運転士数 約350人 (車両数合計 乗合235、貸切50) 系統数 345系統 2019年11月30日現在

東海バスグループの概要

- ・営業エリア:伊豆半島全域+静岡県東部+神奈川県箱根町、湯河原町上記以外に高速乗合バス2路線(三島エクスプレス、伊豆長岡・修善寺温泉ライナー)
- ・ I Cカード: 使えません。
- ・伊東駅、下田駅、修善寺駅では、 お客さまにお尻を向け、排気ガス を吹きかける失礼な会社です。
- ・バス停の形状









バスは、わかりにくい(特に東海バス)



- ・このバスは、<mark>どこへ</mark>行くの?
- ・目的地最寄りのバス停は?
- どこで降りればいいの?
- ・バス停に来たけど、バスもう行っちゃったのかなぁ?
- 経由が違うけど同じ行先。どっちのバスに乗ればいいの?
- ・普段バスに乗らないから、 いくら払えばいいか<mark>わから</mark> ないよ

2013年から「わかりやすいバス、乗りやすいバス」の取り組み開始

「わかりやすいバス、乗りやすいバス」の推進

- ・時刻表の全戸配布
 - →自治体にお願いをして回覧板を利用
- ・系統番号化の推進

2-4 バスを利用しない理由・バスへの不満

① 連行本数が少ない ② 時刻表どおりにバスが来ない ② 連行時間帯が悪い ③ 鉄道どの乗組が悪い

③ 運賃が高い④ 近くにバス停がない

- ・時刻検索サイトへの掲出
 - →鉄道等との乗り継ぎ検索が可能に
- ・高校生アンケートの実施
 - →結果はダイヤ改正等に反映







11

(問3)その他



「わかりやすいバス、乗りやすいバス」の推進

- ・全線路線図の作成、配布
- ・バス停路線図の更新
- ・バスの乗り方教室の充実
 - →自家用車に慣れた高齢者は、 バスに乗るのが不安

「バスは、不便だから健康になれる」



さらに、十勝バスの取り組みを取り入れた



マネした(パクった)↓

- ・目的別時刻表、路線図の作成
 - →時刻だけでなくバス停周辺にある 施設も表示
- ・戸別訪問の実施
- ・路線バスパックの販売

バスロケーションシステムの導入

- ・2018年3月サービスイン
- ・国とバス協会からの補助金の 適用を受けて導入
- ・6か国語に対応





- ・伊東駅、修善寺駅の案内所内に、デジタ ルサイネージを設置
- 静岡県や関係市町との協働(南伊豆・西 伊豆地域公共交通活性化協議会)の取り 組みとして、下田駅、修善寺駅にもサイ ネージを設置
- ・バスの時刻とあわせ、観光情報も表示。

バスロケーションシステムの活用

導入してからの状況

- ・バスの運行状況についての問い合わせが減ってきた。
- ・月間のアクセス数は、まだ7~8,000件程度
- ・今年度中に、バス停のQRコードから 接近情報画面を表示できるようにする。

バスロケーションシステムの活用例

・南伊豆西伊豆地域公共交通活性化協議会の取り組みとして、バス停付近の公共施設等にデジタルサイネージ代わりのタブレットを置き、バスの時刻や運行状況を表示することにより、待合所としての機能を持たせている。

(2018年度4ヶ所、2019年度3ヶ所(予定))



静岡県バス協会の先進地視察

訪問先

新潟交通(2010年)、岩手県交通(2012年)
岐阜乗合自動車(2013年)、十勝バス(2014年)
西日本鉄道(2015年、2019年)、埼玉県・イーグルバス(2016年)
茨城交通(2017年)、会津乗合自動車(2018年)等

取り入れたこと、取り入れようとしていること

- ・地震・津波発生時の対応マニュアル
- ・路線バスパック、戸別訪問、目的別時刻表
- ・エリア定期券(いとうスクールパス)
- ・バスまちスポット
- ・遅延状況を加味した運行時刻の設定
- ・高速乗合バスでの貨客混載等



意外といろんなことに取り組んでます

- ・インスタ映えするようなバス停の設置
- ・全線フリーきっぷの販売
- ・アニメ「ラブライブ!サンシャイン!!」 のラッピングバスの運行
- ・高齢者定期券の発売
- ・沿線情報誌「EAZY」の発行
- ・サイクルラックバスの運行(天城峠線)







11

意外といろんなことに取り組んでます

- ・観光型「MaaS」への参画(小田急、東急・JR東日本)
- ・主要案内所におけるフリーWi-Fiサービス
- ・ホームページの多言語化
- ・伊豆八十八ヶ所霊場めぐり
- ・各市町、各観光協会との連携
- ・西海岸線の大幅なダイヤ改正
- ・自動運転実証実験に参画









今後取り組みたいこと

- ・まずは、出来ることから
- ・バス停時刻表や路線図の見直し
 - インバウンド対応(多言語化、 バス停ナンバリング)
- ・さまざまなデータの収集と活用
 - GTFSオープンデータ化
 - バスロケーションシステムの データの活用
- ・QRコード決済サービスの取り扱い
 - ・案内所における「PayPay」の取り扱い開始(2020年1月予定) ※既にクレジットカードは取り扱いしている。 ※2020年度には、高速乗合バス車内でも取り扱いをしたい。
- ・他の交通モードの検討
 - 伊豆半島内は、他の交通モードへの移行が少ない。



最後に

「わかりやすいバス、乗りやすいバスの実現」 利用者の増加 利用促進策への投資 さらに利用者の増加へ 持続可能な公共交通へ (最後にぼやき)運転士も足りないが事務員も足りない。 まだまだ、いろんなことをやらなきゃならないのに・・・

⋖ ▶

ご清聴ありがとうございました。

